

**重 要
施 策**

平成21年度 県土整備部当初予算のポイント

県土整備企画室

予算額

21年度当初予算	20年度予算	増減額	増減率
827億4660万円	820億1168万円	+7億3492万円	+0.9%

3つの緊急課題

H20 地震災害からの早期復旧

地域経済の活性化

H23 平泉世界遺産登録への支援

重点化する施策と推進事業

凡例：◎新規事業、○一部新規事業

I 災害に強い県土づくりの推進

■地震災害からの早期復旧に向けて道路・砂防災害の復旧工事を進めます。

- ・砂防災害の復旧
 - ◎砂防激甚災害特別緊急砂防事業〔一関市〕、◎直轄特定緊急砂防事業（国施行）〔一関市〕
- ・道路災害の復旧
 - 国道342号の災害復旧・河川等災害関連事業・道路改築事業〔一関市〕 他

■近い将来に発生が予想される宮城県沖地震等に対する備えを進めます。

- ・地震に強い住宅の普及
 - 木造住宅総合耐震支援事業 ※相談員の派遣・学校教育と連携した防災教育を追加
- ・津波災害の被害軽減
 - 銚ヶ崎〔宮古市〕の防潮堤 **新規箇所**、嶋之越海岸〔田野畑村〕の水門等完成
- ・地震発生後の救援ルートの確保
 - 緊急輸送道路の橋梁耐震補強の推進（うち優先確保ルートの完了）

■洪水、土砂災害への対策を着実に進めます。

- ・洪水対策
 - 米代川〔八幡平市〕・黄海川〔藤沢町〕のH19被災箇所の復旧完成、ダム建設事業の推進
- ・土砂災害対策
 - 砂防事業・急傾斜地崩壊対策事業の整備推進、土砂災害特別警戒区域からの住宅移転支援

II 産業の振興を支援する交通ネットワークの構築

■観光産業を支援します。

- ・いわて花巻空港の整備
 - H23.7月平泉世界遺産登録に向けた平行誘導路の整備再開
- ・観光地へのアクセス整備
 - 釜石住田線の滝観洞〔住田町〕 **新規箇所**、国道340号の土淵バypass〔遠野市〕の整備推進 他

■内陸部の工業団地等と港湾を結ぶ道路や高速道路のインターチェンジへのアクセス道路の整備、
港湾機能向上を進めます。

- ・久慈港関連
国道281号の大坊〔岩手町〕新規箇所の整備推進 他
- ・宮古港関連
国道106号の築川道路〔盛岡市〕・都南川目道路（国施行）〔盛岡市〕の整備促進 他
- ・釜石港関連
東北横断自動車道釜石秋田線の遠野～東和間の整備促進（国施行） 他
- ・大船渡港関連
国道284号の室根バイパス〔一関市〕新規箇所、国道397号の津付道路〔住田町〕、
大船渡港の整備推進 他
- ・インターチェンジへのアクセス道路
遠野住田線の新里〔遠野市〕新規箇所、国道107号の札押道路〔奥州市〕

■ものづくり産業を支援します。

- ・工業団地へのアクセス整備
国道284号の真滝バイパス〔一関市〕、平成橋〔北上市〕の整備推進 他

■農林水産業を支援する道路整備を進めます。

- ・農道整備事業等
南沢孫六〔一関市〕新規箇所、軽米九戸2期〔軽米町〕の整備推進 他
- ・林道整備事業等
三田貝〔岩泉町〕新規箇所、大松沢〔陸前高田市〕新規箇所の整備推進 他
- ・水産業支援道路
長部漁港線の長部〔陸前高田市〕新規箇所、吉浜上荒川線の下荒川〔釜石市〕新規箇所 他

III 戦略的な維持管理の推進

■施設を安心して利用して頂くために維持修繕関係の予算を拡充します。

- ・道路・河川維持修繕費等 9,978百万円（H20:8,928百万円）

■効率的・効果的・計画的な維持管理計画の策定を推進し、事後保全から予防保全型の維持管理
に転換を図ります。

IV 快適な生活環境と都市基盤の整備

■汚水処理施設の整備を進めます。

- ・汚水処理人口普及率：68.6%（H19）→80%（H22目標）

■ユニバーサルデザインを推進します。

- ・県営住宅の高齢者向け改善、道路の無電柱化・歩道整備 他

■都市基盤の整備を着実に進めます。

- ・盛南開発進捗率：77.4%（H20）→84.3%（H21） 他

V 建設業における構造改革の推進

■技術と経営に優れた企業が成長できる環境整備を進めます。

- ・総合評価落札方式・入札参加資格審査の評価項目等の拡充 他

■技術力・経営力の強化や新分野進出を支援します。

- ・コーディネーターの配置の拡大、取組への助成・貸付 他

■企業再編に向けた取組を促進します。

- ・再編手法等の情報提供、合併等への優遇措置 他

《参考》

岩手県全体の予算のあらまし等は、下記の県HPにてご覧になれます。

<http://www.pref.iwate.jp/syoku/>